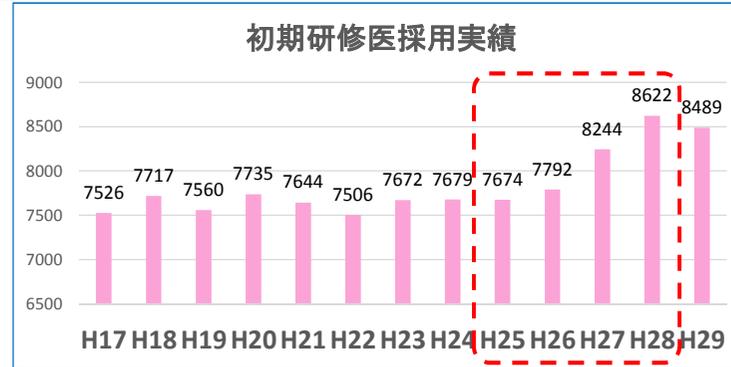
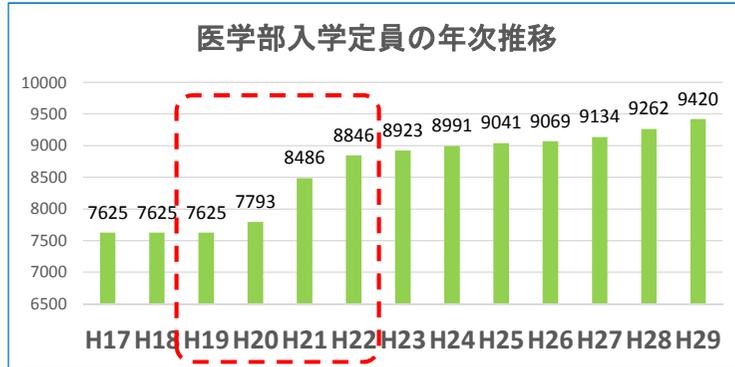
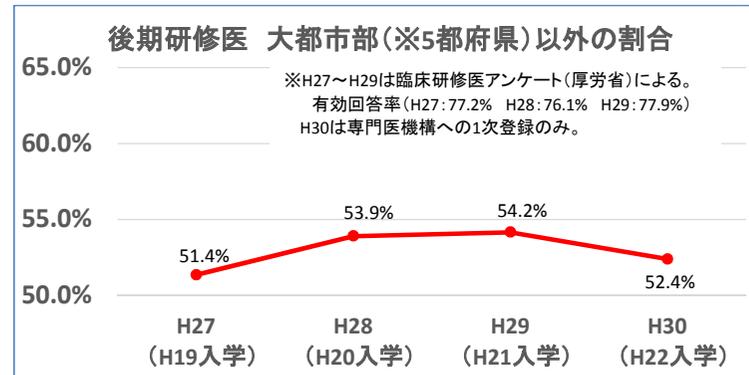
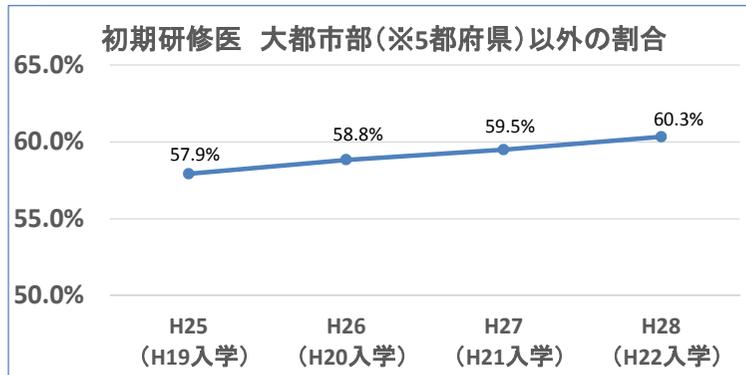


医学部定員・研修医数と、大都市部以外の初期研修医・後期研修医の割合の推移

- 医学部定員・地域枠定員の増加（H21年頃）の効果等により、H27年度以降の初期研修医採用実績が増加した。



- 初期研修では、医学部定員・地域枠定員の増加（H21年頃）の効果等により、大都市（5都府県）以外の採用割合が増加傾向にあり、医師偏在が改善傾向にある。
- 後期研修では、大都市（5都府県）以外の採用割合が増加傾向にあったが、新専門医制度が導入される平成30年度は、近年と比べてむしろ低下している。



医学部・初期研修における偏在対策の効果を損なわないよう、後期研修においても一層の偏在対策が必要

※5都府県：東京・神奈川・愛知・大阪・福岡